

米軍ヘリポート基地に関する要請書

東京都におかれましては、米軍基地（赤坂プレスセンター）の返還について、国に対し、継続した働きかけを行っていただいていることに、感謝を申し上げます。

東京の都心である港区の市街地に米軍ヘリポート基地が設置されていることで、港区民とりわけ近隣住民は、基地の使用による騒音に悩まされ、事故発生の不安を常に抱えています。

港区と港区議会は、これまでも防衛省をはじめ関係機関に当該基地の早期撤去を要望してきました。また、環状3号線の工事に伴って提供された臨時ヘリポート用地についても原状回復・返還を求めてきましたが、日米合同委員会合意によって平成23年7月に実施された一部土地の返還は、港区と港区議会が長年求めてきた公園用地の原状回復・返還ではなく、代替地の返還という地元自治体の願いとは程遠いものでした。

東京都は、平成20年度から米軍ヘリポート基地を利用して、東京消防庁による救急患者の搬送を開始し、多くの人命が救われています。救急患者搬送は島しょ地域の緊急時の対応であり、防災訓練は災害時における緊急事態に対応するためのものであるとは考えますが、米軍基地の機能拡大と恒久化につながることをないよう、引き続き基地撤去に向けた取組をお願いいたします。

港区と港区議会は、区民の安全で安心できる生活を守るため、米軍ヘリポート基地の早期全面撤去を目指しています。そのような中、昨年は、在日米軍の統合軍司令部へのアップグレードの開始に伴い、自衛隊の統合作戦司令部との連携を専門に扱う部署が赤坂プレスセンターに新設されました。新たな機能が付加されたことで、基地の恒久化につながることを強く懸念しております。

国に対して基地撤去、情報提供及び意見聴取、騒音実態調査、騒音等の軽減、安全な運用等を要請しておりますが、東京都におかれましても、米軍ヘリポート基地の返還に向けて、さらなるご尽力をいただきたく要請いたします。

令和8年2月4日

東京都知事 小池百合子様

港区長 清家



港区議会議員 土屋

